



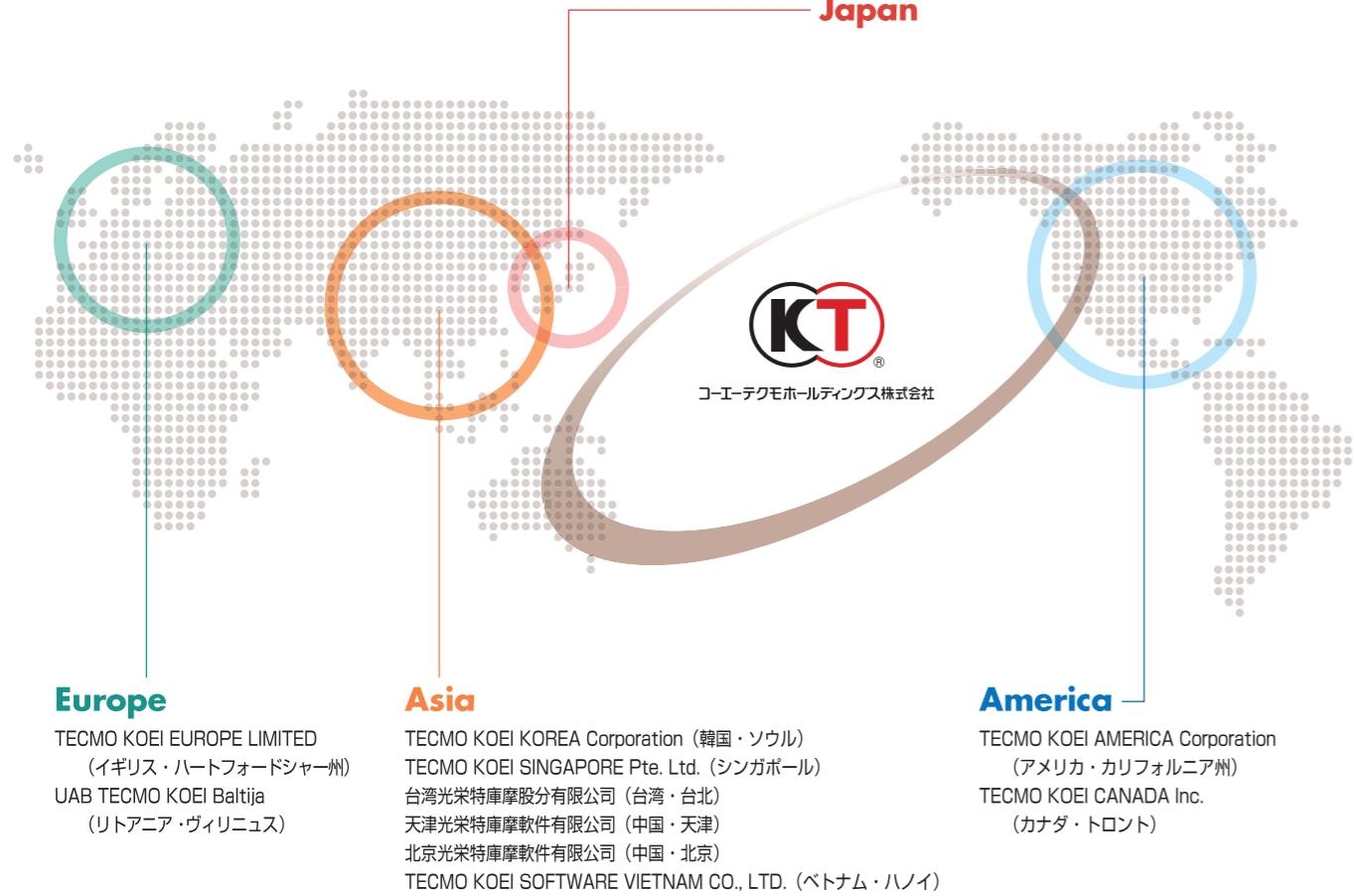
CORPORATE BOOK

平成23年3月期(第2期第2四半期)



～創造と貢献～

わたしたちコーエーテクモグループは、
独創的なエンターテインメントの創造を通じて、
世界中の人々の心を豊かにします



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第2期の中間報告書（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

ゲーム業界を取り巻く環境は、グローバル化の加速に加え、新たなハードやソーシャルゲーム分野の登場により、ダイナミックに変化を遂げております。

このような状況下、当上半期において厳しい業績となったことを踏まえ、当下半期においては、以下の点を重点課題として注力し、業績の向上に努めてまいります。

- ・主力タイトル、コラボレーションタイトルの推進
- ・ソーシャルゲームへの参入本格化
- ・海外市場向けタイトルのマーケティング強化

これらの課題に対処するため、本年11月には成長著しいソーシャルゲーム分野への専任組織を設置したほか、グローバル市場を中心に据えたマーケティング体制づくりへの変革もスタートいたしております。

今後も、「創造と貢献」という経営理念のもと、「世界No.1のエンターテインメント・コンテンツを創発する企業グループ」を目指し邁進してまいります。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役会長 柿原 康晴
代表取締役社長 襟川 陽一



代表取締役社長
襟川 陽一

代表取締役会長
柿原 康晴

平成23年3月期第2四半期の状況

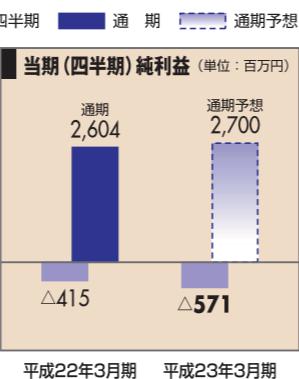
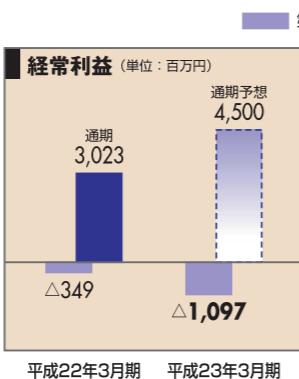
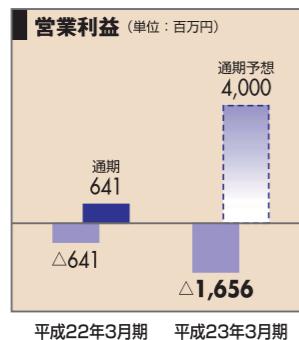
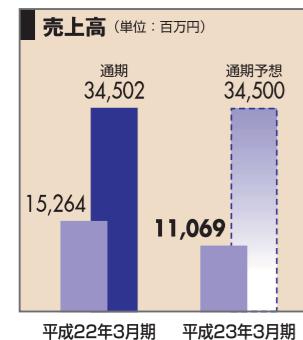
当第2四半期連結累計期間における世界経済は、景気刺激策の効果を反映した緩やかな回復基調を示す一方、信用収縮や依然高水準な失業率などの景気低迷リスクが残る状況です。わが国経済につきましても、消費環境に一部回復の兆しが見られるものの雇用情勢はいまだ厳しく、円高が進行するなど景気動向は引き続き不透明な状況と言えます。

ゲーム業界におきましては、消費の停滞や牽引タイトル不足を受け、ソフト・ハードのいずれもグローバルでの市場規模が前年同期を下回って推移いたしました。一方でソーシャルゲーム、ブラウザゲーム市場がカジュアルユーザーを中心に大幅な伸びを示しております。また、下半期には株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントとマイクロソフト株式会社が体感型の新ハードを投入するほか、任天堂株式会社も新型携帯機「ニンテンドー3DS」を発売予定であり、これらに合わせたソフトの発売を見込んだ市場持ち直しへの期待も高まっています。

このような経営環境下における当社グループの当第2四半期業績は、主力タイトルの発売を第3四半期以降に予定していることから、売上高110億69百万円（前年同期は売上高152億64百万円）、営業損失16億56百万円（前年同期は営業損失6億41百万円）、経常損失10億97百万円（前年同期は経常損失3億49百万円）、四半期純損失5億71百万円（前年同期は四半期純損失4億15百万円）となりました。

当社グループでは機能的かつ効率的な業務遂行と経費削減の徹底などを通じ、収益改善に向けた取り組みを強化してまいりました。この結果、営業損失につきましては当初の予想から改善いたしました。

●財務ハイライト



ゲームソフト事業

売上高 **6,330** 百万円 営業損失 **1,623** 百万円

名作アクションゲーム「METROID」の最新作「METROID Other M」(Wii用)を任天堂株式会社と共同開発いたしました。奥深いストーリーとシンプルな操作性の融合に成功した本作は高い評価を受けております。また、新作アクション・シューティング「QUANTUM THEORY」(PS3、Xbox360用)をグローバルで同時に発売するなど、海外で人気が高い分野への参入にも積極的に取り組みました。

さらに、既発売タイトルのリピート販売についても堅調に推移いたしました。一方で、さらなる品質向上のため「TRINITY Zill O'll Zero」(PS3用)の発売を第3四半期に延期したこと、及び主力タイトルの発売を第3四半期以降に控えていることから、先行投資による営業損失が発生しております。

オンライン・モバイル事業

売上高 **1,803** 百万円 営業損失 **16** 百万円

成長著しいソーシャルゲーム市場に新作タイトル「100万人の信長の野望」を投入いたしました。当社を代表するIPをカジュアルユーザー層向けに展開した本作は、幅広い年齢・性別に受け入れられ、登録ユーザー数も予想を上回る伸びを見せ約2ヶ月で100万人を突破いたしました。さらに、今後も「100万人の三國志」をはじめ、数タイトルの投入を予定するなど新しい市場に対しても意欲的に取り組んでまいります。また、不採算タイトル整理等の事業内容見直しを行い、収益性の高いビジネスへの選択と集中を強化いたしました。これに伴い一時的に費用が発生したもの、収益力が大幅に改善しております。

スロット・パチンコ事業

売上高 **707** 百万円 営業利益 **252** 百万円

パチンコ機「びっくりぱちんこ 戦国無双 MAX EDITION」がリリースされたほか、新たに液晶画面の開発を受託したことが利益に大きく貢献いたしました。今後も積極的にパチンコ・パチスロ機への版権許諾、及び液晶開発受託に取り組むとともに、新規IPの創設にも努めてまいります。

アミューズメント施設運営事業

売上高 **1,573** 百万円 営業利益 **136** 百万円

一部既存店舗のリニューアルが奏功し集客力が向上したことから売上が堅調に推移いたしました。また、不採算店舗の整理統合につとめた結果、営業利益も順調な伸びを見せました。今後も引き続き収益力強化のための施策を実施してまいります。

その他の事業

売上高 **150** 百万円 営業利益 **67** 百万円

メディア・ライツ事業

売上高 **742** 百万円 営業利益 **38** 百万円

7月に「ネオロマンス・アラモード4」、9月に「ネオロマンス・イベント“10 YEARS LOVE”」を開催した結果、当四半期における観客動員数は5万人を突破するなど、イベント事業が堅調に推移いたしました。また、ネオロマンス関連DVD、及びアニメ関連商品の販売につきましても安定した展開を見せました。今後も好調なイベント事業を軸に、当社コンテンツのさらなる活用を推進いたします。

※外部顧客に対する売上高

主な商品とサービスのご紹介

当社グループが開発(共同開発)または販売する期待の商品・サービスをご紹介いたします。

株式会社コーエーテクモゲームス

オンライン・モバイル

ソーシャルゲーム
100万人の信長の野望



〈2010年8月サービス開始〉

「モバゲータウン」においてサービス提供中の、100万人以上のプレイヤーが参加可能な、手軽に楽しめかつ奥深いソーシャル・シミュレーションゲームです。

ソーシャルゲーム 100万人の三国志



〈2010年10月サービス開始〉

10月より「GREE(グリー)」にてサービス提供中。プレイヤーがひとりの君主となって、中原の統一を目指すソーシャル・シミュレーションゲームです。



株式会社コーエーテクモゲームス
パッケージソフト

PlayStation®3
トリニティ ~ジルオール ゼロ~



〈2010年11月発売〉

ファンタジー・ロールプレイングゲーム(RPG)として好評を博した「ジルオール」が、プレイステーション3用の新感覚アクションRPGへと生まれ変わりました。



PlayStation®3 / Xbox 360®
クウォンタム セオリー



〈2010年9月発売〉

刻々と変化していく塔の内部を舞台に、多彩な銃や、ヒロインとのコンピアクションを駆使して戦う、これまでにない爽快なアクション・シューティングゲームです。



PSP® (PlayStation®Portable)
遙かなる時空の中で 5
とき



〈2011年2月発売予定〉

女性向け恋愛ゲームというジャンルを確立させた“ネオロマンスゲーム”的大ヒットシリーズ『遙かなる時空の中で』最新作が、幕末を舞台にプレイステーションポータブル用ソフトとして登場です。



PlayStation®3 真・三國無双6



〈2011年3月発売予定〉

シリーズ10周年記念作品となる本作は、新勢力「晋」の登場、多数の新キャラクター参戦、新しい武器システム導入、3Dへの対応など、かつてない進化を遂げた期待のタクティカルアクションゲームです。



PlayStation®3 / Xbox 360®
トロイ無双



〈2011年発売予定〉

カナダスタジオがグローバルタイトルとして手がける、新しい“無双”。リアルな攻撃の重みやダメージ表現と相まって、緊迫感溢れるダイナミックな攻防が楽しめます。



Wii® 『任天堂株式会社との共同開発』
METROID Other M



〈2010年9月発売〉

ファミコンの名作ゲーム「メトロイド」を、Wiiリモコンだけでプレイ可能な、最新技術を使ったアクションゲームへと進化させました。

©2010 Nintendo Codeveloped by TECMO / Team NINJA



ニンテンドー3DS™
デッド オア アライブ ディメンションズ



〈2011年発売予定〉



ニンテンドー3DS™
戦国無双 クロニクル



〈2011年発売予定〉



■“PlayStation”および“PSP”(PlayStation®Portable)は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

■Xbox、Xbox360 および Xbox 開発ロゴは米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標であり、Microsoft からのライセンスに基づき使用されています。

■Wiiは任天堂の登録商標です。■ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。 © TECMO KOEI GAMES CO., LTD. All rights reserved.

Products Information • 製品情報

株式会社コーエーテクモウェーブ

イベント

ネオロマンス・アラモード4
(2010年7月開催)



ミニドラマ、ライヴ、盆踊り大会など、歌って踊って笑顔が満開! ネオロマンスの夏祭り『ネオロマンス・アラモード4』と、歴代キャスト(声優)陣が、笑いあり、涙ありの10年をファンの皆さんと共に、歌とトークで振り返った「ネオロマンス・イベント“10 YEARS LOVE”」が開催されました。

ネオロマンス・イベント
10 Years Love



ネオロマンス・イベント
“10 YEARS LOVE”
(2010年9月開催)

株式会社コーエーテクモネット

パートナー各社の商品



▼薄桜鬼シリーズ
はくおうき

▼トドリのアトリエ

PlayStation 2
PS3

▲ PS3

● PS3

好評発売中

アイディアファクトリー株式会社の女性向け恋愛アドベンチャーゲーム「薄桜鬼(はくおうき)」シリーズや、株式会社ガストの鍊金術RPG「トドリのアトリエ」、株式会社アクワイアの3DダンジョンRPG「剣と魔法と学園モノ。3」など、パートナー各社のタイトルが好調に推移いたしました。

Financial Data • 財務諸表

(単位:百万円)

●連結貸借対照表

科 目	当第2四半期連結会計期間末 平成22年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在	科 目	当第2四半期連結会計期間末 平成22年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	18,444	26,222	流動負債	4,096	8,049
現金及び預金	6,208	6,551	支払手形及び買掛金	883	1,453
受取手形及び売掛金	3,601	8,469	未払金	835	2,128
有価証券	5,271	7,579	未払法人税等	354	2,014
商品及び製品	515	529	賞与引当金	431	536
仕掛品	665	516	役員賞与引当金	22	29
原材料及び貯蔵品	69	140	返品調整引当金	61	202
繰延税金資産	262	1,071	売上債引当金	186	184
その他	2,124	1,685	ポイント引当金	9	10
貸倒引当金	△275	△320	その他	1,311	1,488
固定資産	52,691	52,479	固定負債	1,336	1,342
有形固定資産	13,498	13,472	繰延税金負債	14	37
無形固定資産	4,283	4,762	役員退職慰労引当金	—	473
のれん	3,427	3,936	退職給付引当金	587	585
その他	856	825	その他	734	246
投資その他の資産	34,909	34,244	負債合計	5,433	9,391
投資有価証券	29,433	30,218	純資産の部		
敷金及び保証金	971	1,198	株主資本	72,090	73,789
更生債権等	93	160	資本金	15,000	15,000
繰延税金資産	4,270	2,595	資本剰余金	24,640	24,640
その他	233	232	利益剰余金	34,816	36,515
貸倒引当金	△93	△160	自己株式	△2,366	△2,366
資産合計	71,136	78,702	評価・換算差額等	△6,481	△4,585
			その他有価証券評価差額金	△2,579	△944
			土地再評価差額金	△3,101	△3,101
			為替換算調整勘定	△800	△539
			新株予約権	93	94
			少数株主持分	—	12
			純資産合計	65,702	69,311
			負債純資産合計	71,136	78,702

●連結損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	当第2四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日
売上高	11,069	15,264
売上原価	8,623	11,122
売上総利益	2,446	4,141
販売費及び一般管理費	4,102	4,782
営業損失(△)	△1,656	△641
営業外収益	1,306	1,177
受取利息	1,001	924
デリバティブ利益	—	22
その他	304	230
営業外費用	747	885
有価証券償還損	222	514
為替差損	255	265
その他	270	105
経常損失(△)	△1,097	△349
特別損失	135	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	135	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,232	△349
法人税、住民税及び事業税	156	219
法人税等還付税額	—	△132
法人税等調整額	△817	△24
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△570	△411
少数株主利益	0	3
四半期純損失(△)	△571	△415

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	(単位：百万円)	
	当第2四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,015	2,632
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,057	△3,086
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,081	△4,262
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△275	△127
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△2,398	△4,844
現金及び現金同等物の 期首残高	9,145	13,221
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	17	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,763	8,376

(平成22年9月30日現在)

商 号 コーエーテクモホールディングス株式会社

(英文名称 TECMO KOEI HOLDINGS CO., LTD.)

資 本 金 150億円

本 店 所 在 地 神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号

設立年月日 平成21年4月1日

従 業 員 数 単独 86名(※1) 連結 1,548名(※2)

※1 従業員数は就業人員(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む)です。

※2 従業員数は就業人員(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)です。

■役 員 (平成22年12月1日現在)

取締役名誉会長 襟川 恵子 監査役(社外) 山本 千臣

代表取締役会長 柿原 康晴 監査役(社外) 大内 卓

代表取締役社長 襟川 陽一 専務執行役員CFO 浅野健二郎

取締役 阪口 一芳 執行役員 原 肇

常勤監査役 長田 延孝 執行役員 保坂 正敏

常勤監査役 森島 悟

■株主優待のご案内

当社は、株主の皆様からの日ごろのご支援に感謝の意を表するとともに、当社グループの事業への理解を深めていただき、より多くの株主様に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的とし、株主優待制度を実施しております。

対象株主様：毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様

ご優待内容：当社選定の商品を優待価格(30%割引)にてご提供*

保有株式数	割引適用個数
100株以上1,000株未満	3個まで
1,000株以上5,000株未満	5個まで
5,000株以上	10個まで

ご優待期間：毎年6月開催予定の当社定時株主総会翌日から7月末日までお申込みを受け付け*

実施回数：毎年3月31日を基準日として年1回実施

※平成22年3月期実績

発行可能株式総数 ······ 350,000,000株

発行済株式総数 ······ 89,769,479株

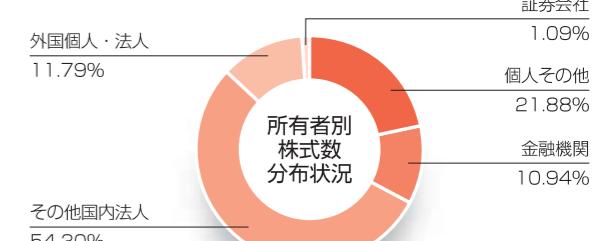
株主数 ······ 21,037名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
千株	%	
株式会社光優	29,171	32.50
環境科学株式会社	6,502	7.24
EUROPEAN KOYU CORPORATION B.V.	5,730	6.38
株式会社リズムスター	3,383	3.77
株式会社シーアインザン	3,383	3.77
日本トラストサービス信託銀行株式会社(信託口)	3,287	3.66
株式会社コーエーテクモゲームス	3,044	3.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,516	2.80
襟川 陽一	1,864	2.08
襟川 恵子	1,806	2.01

(注)1. 持株比率は自己株式(6,538株)を控除して計算しております。

2. 当社の連結子会社である株式会社コーエーテクモゲームスが当社株式を保有しておりますが、これは、平成21年4月1日を効力発生日とした株式会社コーエー(登記社名：株式会社光栄)とテクモ株式会社の共同株式移転に関して、テクモ株式会社が反対株主からの株式買取請求を受けた後、平成22年4月1日付で株式会社コーエー(登記社名：株式会社光栄)が存続会社として同社と合併し、その商号を株式会社コーエーテクモゲームスに変更したことに伴い取得したものであります。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 取締役会決議により中間配当を実施する場合は 中間配当金：9月30日
証券コード	3635（東証一部）
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-78-2031（フリーダイヤル）
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、（電子公告によることができない）事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株

coes-tecmoホールディングス株式会社

神奈川県横浜市港北区箕輪町1-18-12
<http://www.koeitecmo.co.jp/>